

宗内寺院紹介 71

神奈川教区横浜南部

安禅院 圓満寺



①山門及び開山堂 ②内仏堂天井 ③本尊(弥陀三尊)
④比叡山頂観図(傳益瑤作) ⑤天台山頂観図(傳益瑤作) ⑥書院及び本堂

当山は天台宗阿富貴山安禅院圓満寺と号し、天台宗山門派延暦寺末の寺院。安禅院はかつては比叡山延暦寺の一坊で東塔北谷に位置していた。
 天正十三年、天台座主心盛上人が尊朝親王の旨を奉じて再建し、安禅院と称した。明治三十七年焼失、その後再建に至らなかつたところ、大正十二年の関東大震災後、現在地の横浜久保町に慰霊の為観音堂を建立することとなり、同十五年安禅院の名籍を移すことが企画され、昭和三年九月二十日に移転した。
 移転後の中興一世は西郊豪顕。昭和四十八年本堂建立、その後山門が整備され、昭和五十八年阿彌陀堂を圓満寺靈殿として建て替え。平成二年五月には新本堂、平成二十六年十二月に庫裏、書院、内仏堂が落慶され現在に至る。

神奈川教区横浜南部
安禅院 圓満寺

住 所 / 〒220-0061 横浜市西区久保町50-1
 電話番号 / 045-231-4383